

(2006年1月26日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

制限時間 30分

平成17年度 (第34回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級実技

臨海地区にあるイベント会場では「世界の物産展」を毎年1か月間開催している。開催期間中、会場と最寄りの2つの駅までの間をシャトルバスの運行をしている。今年は効率よくバスを運行するために、昨年の乗車数から曜日別にチャーターする台数を計算し、2つの便に割り振る配車計画書を作成することになった。金曜日の配車計画書を作成するために、処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

資料1 便名表

便コード	便名
KG	海岸駅
MM	元町駅

資料2 昨年の乗車数表

月	日	曜	便コード	便名	乗車数
6	1	水	KG	海岸駅	610
6	1	水	MM	元町駅	478
6	2	木	KG	海岸駅	824
6	2	木	MM	元町駅	433
6	3	金	KG	海岸駅	998
6	3	金	MM	元町駅	661
?	?	?	?	?	?
6	30	木	KG	海岸駅	833
6	30	木	MM	元町駅	510
			合計		44,679

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。設定する書式：野線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。「便名表」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、「便コード」は半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - E列の「便名」の※※印の部分は、D列の「便コード」をもとにシート1の「便名表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業シートで、次のように作成する。各表は、シート2のA3～F61のデータからアプリケーションソフトのデータ集計機能を利用して、乗車数と運行日数を曜日別に集計する。ただし、アプリケーションソフトによる体裁の違いは除く。
- シート4は、次のように作成する。

- 「1. 乗車数集計表」は、シート3から必要な範囲をコピーして、値を貼り付ける。
- 「2. 運行日数集計表」は、シート3から必要な範囲をコピーして、値を貼り付ける。
- 「3. 平均乗車数計算表」は、次のように作成する。
 - C18～I19の平均乗車数は、「1. 乗車数集計表」と「2. 運行日数集計表」から曜日ごとに「乗車数 ÷ 運行日数」の式で求める。ただし、整数未満を切り上げる。
 - J列の「総計」は、C～I列の合計を求める。
 - K20行目の「総計」は、18～19行目の合計を求める。
- 今年のバス台数計算表は、「3. 平均乗車数計算表」から曜日ごとに平均乗車数300人につきバス1台をチャーターするように「総計 ÷ 300」の式で求める。ただし、整数未満を切り上げる。
- 「5. 金曜日のバス配車表」は、次のように作成する。
 - C28～C29の「乗車数」は、金曜日なので、H18～H19の平均乗車数を表示する。
 - D28～D29の「台数」は、初期値として1を入力しておく。
 - C30～D30の「合計」は、28～29行目の合計を求める。
 - E28～E30の「平均」は、「乗車数 ÷ 台数」の式で求める。ただし、小数第1位まで表示する。
 - E31の「最大」は、E28～E29の「平均」の最大値を求める。
 - E32の「最小」は、E28～E29の「平均」の最小値を求める。
 - E33の「差」は、E31の「最大」とE32の「最小」の差を求める。
 - D28～D29の「台数」は、「台数」が1以上の整数で、H24の「バス台数」とD30の「合計」が等しく、E33の「差」が最小値になるようにアプリケーションソフトのデータ分析機能を利用して求める。

設定例 目的セル：E33 目標値：最小値 変化させるセル：D28～D29
 制約条件：D28～D29は整数、D28～D29は1以上、H24とD30は等しい

- グラフは、「3. 平均乗車数計算表」と「4. 今年のバス台数計算表」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された数値を表示する。
 - 台数の数値軸は、目盛りの最小値(0)、最大値(20)および間隔(5)を設定する。
 - 乗車数の数値軸は、目盛りの最小値(0)、最大値(2,500)および間隔(500)を設定する。
 - 凡例の位置、数値軸ラベルの方向を設定する。
- シート4を報告書として印刷する。

$E4 = \text{VLOOKUP}(D4, \text{シート1}!\$A\$4:\$B\$5, 2, 0)$

便名表 (シート1)

便コード	便名
KG	※
MM	※

昨年の乗車数表 (シート2)

月	日	曜	便名	乗車数
6	1	水	KG	610
6	1	水	MM	478
6	2	木	KG	824
6	2	木	MM	433
6	3	金	KG	998
6	3	金	MM	661
?	?	?	?	?
6	30	木	KG	833
6	30	木	MM	510
			合計	44,679

シート2のA3～F61
 データ ヒポソットテーブル
 次々 次々 既存シート3A2
 完了 (行便名列曜)
 (シート2) データ乗車数

シート2のA3～F61
 データ ヒポソットテーブル
 次々 次々 はい 次々
 既存のシート3A8 完了
 (行便名列曜)
 A列とデータと同じに
 データの個数に
 なる

合計 / 乗車数 曜 (シート3)

便名	日	月	火	水	木	金	土	総計
海岸駅	※※	※※	※※	3,850	※※	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※	2,391	※※	※※	※※	※※
総計	※※	※※	※※	6,241	※※	※※	※※	44,679

データの個数 / 日 曜 (シート3)

便名	日	月	火	水	木	金	土	総計
海岸駅	※※	※※	※※	5	※※	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※	5	※※	※※	※※	※※
総計	※※	※※	※※	10	※※	※※	※※	58

バス配車計画書シート4

- 乗車数集計表

便名	日	月	火	水	木	金	土	総計
海岸駅	※※	※※	※※	3,850	※※	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※	2,391	※※	※※	※※	※※
総計	※※	※※	※※	6,241	※※	※※	※※	44,679
- 運行日数集計表

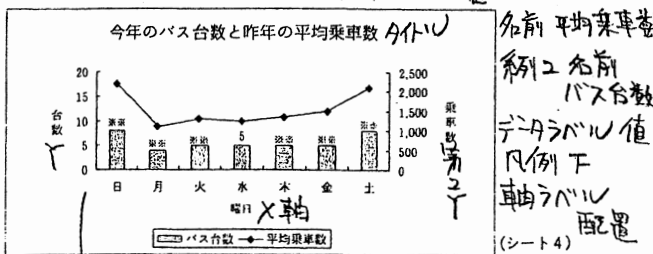
便名	日	月	火	水	木	金	土	総計
海岸駅	※※	※※	※※	5	※※	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※	5	※※	※※	※※	※※
総計	※※	※※	※※	10	※※	※※	※※	58
- 平均乗車数計算表

便名	日	月	火	水	木	金	土	総計
海岸駅	※※	※※	※※	770	※※	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※	479	※※	※※	※※	※※
総計	※※	※※	※※	1,249	※※	※※	※※	10,795
- 今年のバス台数計算表

便名	日	月	火	水	木	金	土
バス台数	※※	※※	※※	5	※※	※※	※※
- 金曜日のバス配車表

便名	乗車数	台数	平均
海岸駅	※※	※※	※※
元町駅	※※	※※	※※
合計	※※	※※	297.4

$C18 = \text{ROUNDUP}(C6/C13, 0)$
 $C24 = \text{ROUNDUP}(C20/300, 0)$
 $G28 = H18$ $G29 = H19$
 $D28$ $D29$ 1
 $E28 = C28 / D28$
 H↑↑↑↑↑
 $E31 = \text{MAX}(E28:E29)$
 $E32 = \text{MIN}(E28:E29)$
 $E33 = E31 - E32$



縦軸最大0 間隔5
 データラベル 凡例

13

(2006年1月26日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

制限時間 30分

平成17年度(第34回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級実技

臨海地区にあるイベント会場では「世界の物産展」を毎年1か月間開催している。開催期間中、会場と最寄りの2つの駅までの間をシャトルバスの運行をしている。今年は効率よくバスを運行するために、昨年の乗車数から曜日別にチャーターする台数を計算し、2つの便に割り振る配車計画書を作成することになった。金曜日の配車計画書を作成するために、処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。また、シート4のA1のセルに受験番号が入力されているか確認しなさい。

資料1 便名表

Table with 2 columns: 便コード, 便名. Rows: KG 海岸駅, MM 元町駅

資料2 昨年の乗車数表

Table with 6 columns: 月, 日, 曜, 便コード, 便名, 乗車数. Rows for months 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12

処理条件

- 1. 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
2. シート1は、次のように作成する。
3. シート2は、次のように作成する。
4. シート3は集計作業用シートで、次のように作成する。
5. シート4は、次のように作成する。
6. グラフは、「3. 平均乗車数計算表」と「4. 今年のパス台数計算表」から作成する。

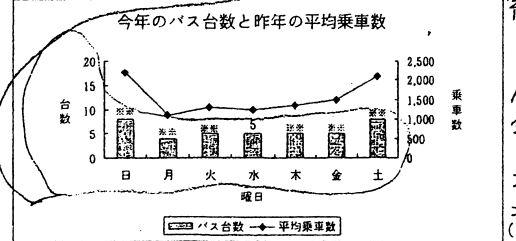
シート1 便名表 (Sheet 1)

シート2 昨年の乗車数表 (Sheet 2)

シート3 データの個数/日曜 (Sheet 3)

シート4 乗車数集計表 (Sheet 4)

今年のパス台数計算表



=VLOOKUP(D4,シート1!\$A\$4:\$B\$5,2)

シート2のA3~F61 挿入 ヒポットラブル 既存 シート3 A8 OK

シート3のI645 A3ドラック 右下から左上

シート3のI1245 A9ドラック コピー シート4のB11貼付け

(C18)=ROUNDUP(C6/C12,0)
(C24)=ROUNDUP(C20/300,0)
(C28)=H18
(D28)(D29) 1
(E28)=C28/D28 H18以上
(E31)=MAX(E28:E29)
(E32)=MIN(E28:E29)
(E33)=E31-E32

シート2のA3~F61 挿入 ヒポットラブル 既存 シート3 A2 OK

オートSUM

B23~B24 挿入 縦横 データの選択 系列追加 系列名 平均乗車数

系列値 C20~I20 OK OK グラフで右クリック 系列グラフの種類 折れ線 OK データ系列の書式 第2軸 開閉

凡例下 詳細 タイトル 軸ラベル データラベル 目盛 軸書式設定